

## ごかせ未来キャリア協同組合を活用した労働力確保(事例1)

### 【取組の経緯】

- ・1995年五ヶ瀬緑製茶として経営を開始。2023年新雪谷（ニセコ）茶園（北海道）と五ヶ瀬緑製茶を統合し、緑碧茶園を設立。（五ヶ瀬茶園栽培面積8ha）
- ・中山間地域のお茶は、法面管理や有機茶のため除草作業に伴う労働負荷が大きく、省力化や人材確保が大きな課題であったため、10年以上前から、人材バンクの仕組みの必要性を町へ提案。
- ・特定地域づくり事業協同組合制度は、永住者を確保する将来につながる事業と認識しており、ごかせ未来キャリア協同組合の設立（令和7年）と同時に組合員として加入。

### 【取組の概要】

- ・令和7年の加入時から、職員1名の派遣を依頼。
- ・当初は週3日の1名雇用、令和8年7月からは1名を週2日追加雇用。現在の派遣職員は2名。
- ・栽培管理から収穫・荒茶製造までの作業を実施。
- ・労働力確保だけでなく、就農のきっかけづくりや将来的な人の定着のため、派遣人材を受け入れている。

### 【今後の事業展開】

- ・当地域の茶農家（後継者を有する経営体、人材を確保し規模拡大を行っている経営体、後継者不在の経営体など）がそれぞれのスタイルで共存していくことが、五ヶ瀬茶が生き残っていくと考えている。
- ・農業を代々続けていくためには、大手企業との連携による経営の安定化を図りながら、第三者や独立化という多様な継承を視野に入れている。



代表取締役の興梧さん



緑碧茶園の商品



茶園風景